平成25年度　部運営方針

会計室

部長名	会計管理者　牧野　功

基本姿勢

　会計室は、市長の補助機関である職員のうちから任命された会計管理者をトップに置く機関です。しかしながら、会計管理者は、市長、副市長、監査委員と親子、夫婦又は兄弟姉妹の関係であってはならず、支出負担行為に関する確認、収入および支出命令書の審査に関することを任務としており、言い換えれば、市長の配下にありながら、市長の発した支出命令を審査する権限までも与えられている、独立した権限を与えられている部署です。
　市の公金の収納・支出といった会計事務に携わりますので、何事にもまして、法令条例規則等を遵守し、適正で確実な執行に努めます。
　また、市の財政運営、予算の執行全体を司る政策推進部（財政課）と連携して、庁内の指導的立場を担います。
　公金の保管運用についても、最も確実かつ有利な方法により行ってまいります。

重点方針

1	適正で確実な公金の収入・支出
2	最も確実かつ有利な方法による公金の保管運用
3	支出命令書は市民の財産という認識
4	正確でかつ分かりやすい決算書等の調製
5	法令等の遵守を最優先としながら、事務の効率化を推進

市長コメント

会計室

重点方針１	適正で確実な公金の収入・支出

めざす方向性
○法令等の遵守、正確な処理、厳正な審査により、適正な収入・支出事務を行い、あらゆる市民サービスの実現に寄与します。

平成25年度の具体的取組				
計画	○収入事務の適正化に向けた庁内各課への指導助言 ○適正な会計事務の取扱説明書の充実	目標値	項目	支出事故件数
			現状値	現在、統計をとっていません
			目標値	発生件数ゼロ
			項目	適正な調定事務
			現状値	収入調定が散見される状況
			目標値	決算への適正な反映（市の保有債権の明示）

進捗状況	○収入事務の適正化に向けた庁内各課への指導助言 →平成２５年度会計事務の適正な執行および留意点について（通知）のなかで、重要事項として、調定事務の適正化について強調。通知に先立ち、全部の部長、関係課長を回り、趣旨説明をしました。 ○適正な会計事務の取扱説明書の充実 →取扱説明書自体を変更するのではなく、上記の通知文のなかで、調定事務の適正化、支出命令書は市民にとって貴重な財産であることを伝えました。	目標値進捗状況	項目	
			現状値	
			項目	
			現状値	

実績		実績値	項目	
			実績値	
			項目	
			実績値	

会計室

重点方針２	最も確実かつ有利な方法による公金の保管運用

めざす方向性
○公金として法定されている「最も確実かつ有利な方法による保管」運用の実行 ○公金の保管運用にあたっては、安全性を最も優先し、流動性、収益性の順位とします。

平成25年度の具体的取組				
計画	○大東市資金管理・運用等検討会が作成する平成２５年度資金運用方針に基づく公金の保管運用の実行 ○ペイオフ全面解禁下における、財政課、水道局、土地開発公社と連携したペイオフ対策の実行 ○基金保有資金のより有利な運用のため、年度を超えた運用の検討実行 ○資金運用方針の枠内での、より有利な運用に向けた研究研さん	目標値	項目 現状値 目標値	資金運用方針により、数値目標は定めていません
			項目 現状値 目標値	

進捗状況	○基金保有資金のより有利な運用のため、年度を超えた運用の検討実行 →平成25年3月議会で基金条例の一部改正をしたうえで、３月末から災害対策基金の資金を活用して、２年物の定期預金を実行（１年物に比べ、年０．０１～０．０２％の利率の上乗せ有り。１年未満と比べれば、それ以上と推測されます）	目標値進捗状況	項目 現状値	
			項目 現状値	

実績		実績値	項目 実績値	
			項目 実績値	

会計室

重点方針３	支出命令書は市民の財産という認識

めざす方向性
○支出命令書は、市民に納めていただく税金、使用料他、各種財源に支えられた公金支出の最終表現であるという認識を持ちます。 ○公金が市民の財産であることと同様に、支出命令書は、重要な行政資料であるとともに、基本的に市民の財産であるということを念頭においた審査業務を行います。

平成25年度の具体的取組				
計画	○適正な会計事務の取扱説明書を用いるなどして、庁内に支出命令書は市民の財産であるという認識を広めていきます。 ○情報公開請求の際の複写に対応できるように、支出命令書への請求書の貼付方法・方向についてまで、庁内各課に指導を徹底します。	目標値	項目 現状値 目標値	目標値はありません
			項目 現状値 目標値	
進捗状況	○適正な会計事務の取扱説明書を用いるなどして、庁内に支出命令書は市民の財産であるという認識を広めていきます。 ○情報公開請求の際の複写に対応できるように、支出命令書への請求書の貼付方法・方向についてまで、庁内各課に指導を徹底します。 →上記２点に関して、日常の審査業務のなかでの指導の徹底に加えて、平成２５年度会計事務の適正な執行および留意点について（通知）のなかで、支出命令書は市民にとって貴重な財産であることを伝えました。	目標値進捗状況	項目 現状値	
			項目 現状値	
実績		実績値	項目 実績値	
			項目 実績値	

会計室

重点方針４	正確でかつ分かりやすい決算書等の調製

めざす方向性
○法令等に基づき、正確な決算書および付属資料を調製します。 ○歳入歳出事項別明細書の備考欄などについて、継続性を大切にしつつ、正確で分かりやすい表現を追求します。 ○財産に関する調書の調製にあたっては、正確なデータを収集し、分かりやすい方法で掲載します。

平成25年度の具体的取組				
計画	○歳入事務について、年度末、出納整理期間において、庁内関係課と連携して整理を徹底します。 ○歳入歳出事項別明細書の備考欄の充実に努めます。 ○財産に関する調書に掲載するデータの精査充実に努めます。 ○市民にとって分かりやすい決算状況の表現の一手法である新公会計制度について、平成２４年度の庁内研究会の報告書に基づいて、引き続き取り組みを進めます。	目標値	項目 現状値 目標値	決算書等の正誤表の有無 財産に関する調書の差替訂正 正誤表ゼロ
			現状値	

進捗状況	○歳入事務について、年度末、出納整理期間において、庁内関係課と連携して整理を徹底します。 →出納整理期間に入り、調定、収入未済、不納欠損などを財務会計上で可能な限り、会計室側で事前にチェックし、原課に指摘指導しました。 ○財産に関する調書に掲載するデータの精査充実に努めます。 →掲載するデータについて、会計規則に基づく会計管理者への報告をもとにデータを整理し、議案原稿としての原部原課による校正作業を工程に加えました。 ○市民にとって分かりやすい決算状況の表現の一手法である新公会計制度について、平成２４年度の庁内研究会の報告書に基づいて、引き続き取り組みを進めます。 →研究会の一員として、平成２４年度末の報告書に、さらに日々仕分け方式のメリット等について議論を深め、報告しました。	目標値進捗状況	項目 現状値	
			項目 現状値	

実績		実績値	項目 実績値	
			項目 実績値	

会計室

重点方針５	法令等の遵守を最優先としながら、事務の効率化を推進

めざす方向性
○法令、会計規則等の遵守を最優先し会計事務を行います。 ○法令等を遵守しながら、安易な前例踏襲主義には陥らず、常に事務を見直し効率化を推進します。

平成25年度の具体的取組				
計画	○光熱水費等の口座引き落とし払いの導入に向けて検討を進めます。 ○ペイジー口座振替受付サービス導入について、庁内関係課、金融機関との調整役を務めます。 ○口座振替済通知書送付の原則廃止により、省資源化、予算の削減を実現します。 ○消防本部、財政課等庁内組織、四條畷市会計課と連携し、消防広域化のための一部事務組合設立、本格稼働をサポートします。 ○学校給食の公会計への移行に向けて、財政課と連携し、所管課をサポートします。	目標値	項目 現状値 目標値	改善項目の実施 改善をひとつでも実現します
			項目 現状値 目標値	

| 進捗状況 | ○法令等を遵守しながら、安易な前例踏襲主義には陥らず、常に事務を見直し効率化を推進します。
→何十年来紙ベースで手書き管理していた基金台帳を、監査の理解を得つつ、平成２４年度末からエクセル化しました。
○口座振替済通知書送付の原則廃止により、省資源化、予算の削減を実現します。
→平成２４年３月2日付けで大東市公金口座振替取扱要綱を改正。平成２５年４月１日に施行され、口座振替制度利用者全件18,980件に関して、システム抽出、印字、発送していたものを、希望者のみの25件とした。職員人件費と郵送料984,350円を削減した。また、通知書印刷経費、年147,000円も不要となりました。
○消防本部、財政課等庁内組織、四條畷市会計課と連携し、消防広域化のための一部事務組合設立、本格稼働をサポートします。
→組合で導入する財務会計システムについて、９月議会に予算案上程を目指し、消防、情報担当、財政と調整を進めています。また、組合設立後、必要となる条例、議案、予算について整理を進めています。
○学校給食の公会計への移行に向けて、財政課と連 | 目標値進捗状況 | 項目
現状値 | |
| | | | 項目
現状値 | |

実績		実績値	項目 実績値	
			項目 実績値	